

兒童心理學 (第六講)

牛 島 義 友

精神發達の段階

前回は精神發達の各段階に於ける主要な特徴や方向を説いたが、更に細かく觀るに色々な機能上の變化がある。乳幼兒期のみを見ても感覺や知覺の變化、運動機能の發達、言語の習得等に夫々著しいものがある。

味覺や溫度感覺は非常に早くから働いてをるが、併し生後二三日の所では苦いキニーネを平氣で吞込んだりする。物が見える様になるには大分時間がかかり、積極的に目で追つたりするには少くも一ヶ月はかかる。音の方に頭を向けるのは滿二ヶ月後でなければ出來ず、更に見た物の方へ手を伸して掴むのは五ヶ月後である。或は這ふ事によつて生活空間が擴大するのは八、九ヶ月頃であり、歩ける様になるのは一年三ヶ月頃である。其他言語の發達にも大體の順序があつて滿四ヶ年頃までに一通り習熟する。

斯くて乳幼兒の時代は徐々ではあるが毎日少し宛成長してゐて、何時の間にか無言の赤ん坊がおしやべりで、色々氣の付く、賢い子供になつてをる。斯る精神發達には一定の順序があり、何歳頃はどの程度の狀態であるこの基準がある。故にこの基準に照して我子の成長を眺めるに興味があり、かつ發育上の障礙等を早期に發見して適當な處置を講ずる参考になる。

茲では筆者達が「乳幼兒精神發達検査」を簡易化した簡易検査を示す事にしよう。此の簡易検査は母親達でも容易に使用出来る様に工夫したもので各年(月)齡に二問宛あり、何ヶ月(年)分までの問題が出来るかを調べる事によつて、其の精神發達年齢を推定するものである。年齢は凡て滿歲である。

滿一ヶ月未滿兒

1 軽い音で靜かになる。

子供が不快になつてゐる時にガラ／＼を鳴らす。子供が静かになつたり、音の止んだ時に静かにしてをればよい。

2 妨害的接觸を避ける運動 綿で子供の鼻を拭こうとする。頭を動かして避けようとしたり、或は觸れた事により、突然運動が止つたり、反對に激しくなればよい。

一ヶ月兒

3 動く毛糸を凝視する。

子供の目の前で赤い毛糸を靜かに動かす。子供の目がそれに従つて一往復すればよい。

4 體を起した時に頭を眞直に保つこと、子供の頭と肩を支へ乍ら起し、靜かに頭の支を取る。子供が二三秒間頭を眞直に保つてをればよい。

二ヶ月兒

5 音の方へ頭を向ける。

6 他人に對し笑つたり喃語して答へること、子供をあやしてやること、笑つたりウ、ン、と言へばよい。

三ヶ月兒

7 腹這ひの姿勢で頭と肩とを上げること、頭を一寸上げるだけなら一ヶ月未滿兒でも出来るが、此の月では肩まで上げ得ねばならない。

8 ガラガラを手に攪んでゐること、手ににぎらせること直ぐに落さないで、しつかり握つてをればよい。

四ヶ月兒

9 仰向きの姿勢で支へられた際に頭と肩とを支持上げる。子供の上體を少し起し、平手で子供の背中を支へてをる。斯る姿勢の時に、もつと起き上らうとして體を上げようとする努力すればよい。

10 室内を歩く人を眼で追ふ。

五ヶ月兒

11 眺めたものを手で握むこと

12 仰向きの姿勢で、邪魔になる掩布を取り除くこと、

子供の髪の上に布をかけ、それを取らせる。

六ヶ月兒

13 仰向きから身を轉ずる。

14 ゐないゐないばあゝを面白がる。

七ヶ月兒

15 一人で坐つてをること、三十秒間坐つてをればよい。

16 模倣して机を叩くこと、母が机を手でゆつくり何度も叩く、子供が其の眞似をして叩く様になればよい。

八、九ヶ月兒

17 這ふこと

18 二つの匙を打合せること、二つの匙を先づ打合はせ

て見せ、次に子供に匙を渡し、同様に打合せよう
すればよい。

十、十一ヶ月児

19 二語を話すこと、ウマ、カ、カーチャン等二語以上
しやべれば言語發達は良好。

20 包まれた玩具を取り出す。子供の玩具を取上げて、
子供の前に置き其の上に風呂敷をかける。子供がそ
れを取除いて玩具を取つたり、布の下から取出さう
とすればよい。

満一歳児

21 一人で立つこと

22 要求を理解すること「たつち」「ねんね」「おいで」の三
つの命令に夫々従へばよい。

一歳三ヶ月児

23 一人で歩くこと

24 錯畫 紙にクレヨンで錯畫を描いてみせ、子供が
模倣して描けばよい。

一歳六ヶ月児

25 一つの命令 二米先の机の上の本を指し、あの本を
持つて来て頂戴と言ひ、其の通りに實行すれば合格。
26 繪を眺めること 繪の中のものを言つたり、或はお
母ちゃんはごごごの質問に對して繪を指示すればよ

二歳児

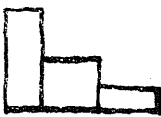
27 位置關係の理解 小さな積木を箱を用意し、この積
木を箱の上に置きなさいと言つて、其の通りにさせ
る。其の他後、前、下、中等を言ひ、此の五つの中
二つを正しく理解したら合格。

28 四個の嵌め板 元は特別の用具を使用しなければな
らないが、四角、三角、半圓、十字形の小片をそれ
を嵌める盤があり、元を嵌めさせる。三分以内に
三個出來れば合格。

三歳児

29 常識問題 「お腹の空いた時にはどうしますか」「眠
たい時にはどうしますか」の質問に對して「御飯をた
べる。お菓子を食べる」「食べる」或は「ねる、ふん出
してねる」等の答のものは合格。

30 積木の模倣 三個の積木で十字架を作つてみせ、「さ
あこれと同じ
ものを作つて
下さい」と言
つて壊してし
まふ。子供が
手本通りに作



ればよい。手本の形は次の二つである。

以上の如く満三歳までの検査問題を示してをいた。尙ほ此の簡易検査は、満七歳児用の問題までであるので學齡前兒全體を調べる事が出来る。詳細は目黒書店から發行する乳兒精神發達検査を見てほしいし、用具は國民保育館で發賣してもらふ豫定である。

言語の發達 身邊生活時代に最も注目す可き事は言語の急速な習熟である。満一歳の頃はウマ〜ミカーチャン位しか言へなかつたのが、満四歳頃になるに實に色々な事を話す様になり、其の會話も相當自由に出来る。それは中等學校五年間で修得した英語等より遙かに上手である。智能や記憶力等も未だ極めて低いと思はれてをる赤ん坊の時代にぐんぐん覺え込んでをるのである。而もこれと言ふ教師もなく、組織的教授法等もなしに、謂はゞ獨學でもものにしたのである。此の言語學習力に關しては全く幼兒に敬服してしまふ。

組織的に教育したのでないから、其の學習狀態だけを組織的に検査するのも片手落な話であるが、此の言語發達を検査する方法が色々考案されてある。子供の語彙や發音或は文について検査出来るが、茲では語彙検査について述べる。外國ではデリールドルやスミスの方法が有名であり、吾邦でも石川氏加藤氏等の方法もあるが、筆者が愛育研究

所に於て作製した方法を簡單に紹介する。尙此の検査を實際に用ひようと思つたら、研究報告書愛育研究所紀要第二輯 幼兒の言語發達 目黒書店發行)を讀み、所定の方法で行はねばならない。

此の検査は先づ幼兒の語彙を調べて、如何なる語が如何なる割合で使用されてをるか明かにし、其の中から代表的な語として次の六十六語を選んだ、之は極めて容易な、幼兒に常に使用される語から、幼兒に三つては相當に難解な語まで含まれてあり、大體六ヶ數さの順に並べてある。此の語について使用力と理解力を検査する。使用力とは此の検査語を使用するか否うかを調べる。其の方法としては事物或は繪等を示して其の名稱を言はせる様な方法をこる。理解力の方は子供が検査の場合に發語しなくても、理解だけはしてゐるのか否かを確めるもので、検査者が言葉を言つて、それに應じた繪を指示させる方法をこる。

- 1 兵隊、2 時計、3 帽子、4 耳、5 鉛筆、6 此處、7 魚
- 8 來る、9 汽車、10 はさみ、11 大きい、12 好き、13 あれ、14 起きる、15 赤、16 私、17 鐵砲、18 かく、19 動く、20 水瓜、21 皿、22 少し、23 煙、24 海、25 女、26 木、27 洗ふ、28 長い、29 龜、30 冷い、31 乾く、32 窓、33 怒る、34 走る、35 醫者、36 青、37 後、38 膝、39 飾る、40 毒、41 水兵、42 腐る、43 茄子、44 泥、45 海水浴、46 薄い、47 浅い、48 貨物列車、49 か

ンガル、50馬車、51將棋、52天氣豫報、53葦、54甲板、55漏斗、56昨晚、57おだやか、58蟲干、59しげる、60危険、61占領する、62命中する、63煤、64反る、65不親切、66洋行する。

此の理解力の平均點は次の如くなる。

満一歳 三歳 四歳 五歳 六歳

二九・〇四 三三・九六 四六・四九 四九・八六 五〇・八四

満二歳は二歳〇ヶ月から十一ヶ月までの者を含む。以下同様。

此の數字を見るに二歳から四歳までは急激に増加してをるが、其の後は餘り増加してない事を知る。之は元來子供の語彙の發達が四歳までは著しく増加し、其の後は徐々にしか増加しないために斯る結果が得られたのである。故に語彙検査によつて子供の言語發達をみるのは満四歳位までの子供をみるのが適當である。それ以上の子供の言語發達を調べるには語彙の點よりも他の點からみるのが妥當である。例へば子供の訛がされて正しい發音をしてゐるか否かを調べる發音検査とか、語の内容をしらべるもの、例へば机と言ふ語について如何なる觀念内容を有してをるかを調べる定義検査による方がよい。

子供の定義を調べるに五、六歳頃は専ら用途定義をなししてをる。例へば机はごはんを食べるもの、字を書くものに

答へ、電車は走るものとか乗るもの等三答へる。即ち其の物の用途、機能等を第一に考へてをる。次の年齢になるに用途以上に物の構造等を詳細に説明する様になる。即ち机は四角くて足が四本あるとか、電車は輪があつてレールの上を動くとか、上にボールがある、窓がある等三敘述する様になる。ビネーの智能検査法には斯る定義検査によつて知能の發達を調べる問題も若干含まれてをる。

保育講習會豫告

恒例の本會夏期講習會は昨年は中止いたしました。本年は左の通り開催の豫定で目下手續中であり。決定の上各幼稚園に詳細御通知申上げます。

時 日、八月一日より四日間

會 場、東京女子高等師範學校

申 込、八月一日會場にて

會 費、金四圓(當日持參)

(宿泊は時節柄寄宿舍その他お世話出来ません)

昭和十七年七月

日本幼稚園協會